



さがさんが

第 八 五 号

平成 二 七 年

西 暦 二 〇 一 五 年

春 彼 岸 三 月 号

曹 洞 宗 東 運 寺

京 都 市 伏 見 区 淀 新 町 六 一 八 一

TEL 〇 七 五 一 六 三 一 一 二 二 七 二

FAX 六 三 二 一 五 七 二 五

E-MAIL sanga@tounji.net

今年から十年間かけて、

横浜にある曹洞宗大本山總持寺において、初代住職

瑩山（けいざん）禪師と二世住職峨山（がさん）禪師

お二人の大遠忌（だいおんき）五十年に一度の、本山の
（大法要）が行われます。

これにちなみ、あらためてお一人ずつご紹介します。

峨山（がさん）禪師

道元禪師や、瑩山禪師に次いで曹洞宗第三の祖とも言
われる峨山禪師は、鎌倉時代半ばの建治二年（一二七六）
いまの石川県に生を受けられました。

幼いころから仏さまへのあこがれを強く持ち、比叡山
での修行中に出会った瑩山禪師の弟子とされます。

あるとき峨山禪師は、瑩山禪師より「月が二つあるこ
とを知っているか」と問われます。ところがそのときは、
意味がわからず答えることができませんでした。

二年後、空に浮かぶ月は仏さまそのものを指している
こと、私たちに宿る仏さまの心がもう一つの月であるこ
とをお気づきになり、瑩山禪師に認められます。

「二つの月」は、仏さまのみ教えと、それをまねて実
践する私たちの二つを指しているわけです。どちらか一
つが欠けても、仏さまの心を後世にきちんと伝えること
はできない、というお示しでもあります。

その後は九一歳まで長生きされ、多くのお弟子様を育
てられました。今は横浜にある大本山總持寺の二世住職
として、お寺運営の基盤を整備され、後に続く曹洞宗を
確固たる存在になされたのです。

今年はその峨山禪師六五〇年の大遠忌にあたり、大本
山總持寺におまいりします。詳しくは、このお便り裏面
下段をご覧ください。



川崎市の事件にかくれてしまいました。今年に入り
自称「イスラム国」関連の団体による、捕虜の殺害映像
がニュースを賑わせました。

湯川遥菜さんや後藤健二さんの件では、不慮の事故で
はなく犯罪行為の被害者であり、これから殺害されると
いう恐怖をリアルタイムで感じたことにおいて、ふつう
のできごとではなかったと言えるのでしよう。

外務省の制止を聞かず危険地帯に入った、お二人の軽
率さはたしかにあるのかも知れません。「自己責任」の考
え方もあり、必ずしも称賛ばかりとならず、報道という
ものについても考えさせられました。

しかしながら、この件でまず非難されるべきは、イス
ラームの権威を借りた過激派組織であるイスラム国によ
るテロ行為であり、彼らが画策する憎しみの連鎖に乗ら
ないことが重要なのだと思います。そしていつか、この
連鎖が終わることを願ってやみません。

この関連では、フランスの雑誌による、ムハンマド（イ
スラームの権威）を諷刺する画も賛否を呼
びました。

ただ、「表現の自由」とは、決して「相手
を傷つける自由」ではないのだということ
も、忘れてはならないと思います。



護持会費の領収書について

今年 平成二七年度分より、
領収書の形が変わります。

護持会会員の皆さまには、別にご案内を同封しており
ますので、どうかご覧ください。

大本山總持寺へのおまいり

峨山禪師大遠忌にあたり、左記のとおりにて大本山總
持寺にまいります。總持寺に参拝する機会はなかなか
ないと思われれます。ぜひご参加下さい。

日時 七月六日 月（から八日 水）

宿泊 一泊目は總持寺・二泊目は河口湖温泉

会費 五二、五〇〇円

浅草や、富士五合目での観光もあります。

なお、今までと同じ団参も秋に予定しています。

また、七月のお寺の法要は、この参拝と重なる
ため、日程が三日（金）に変わります。

どちらもあらためてご案内申し上げます。



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→